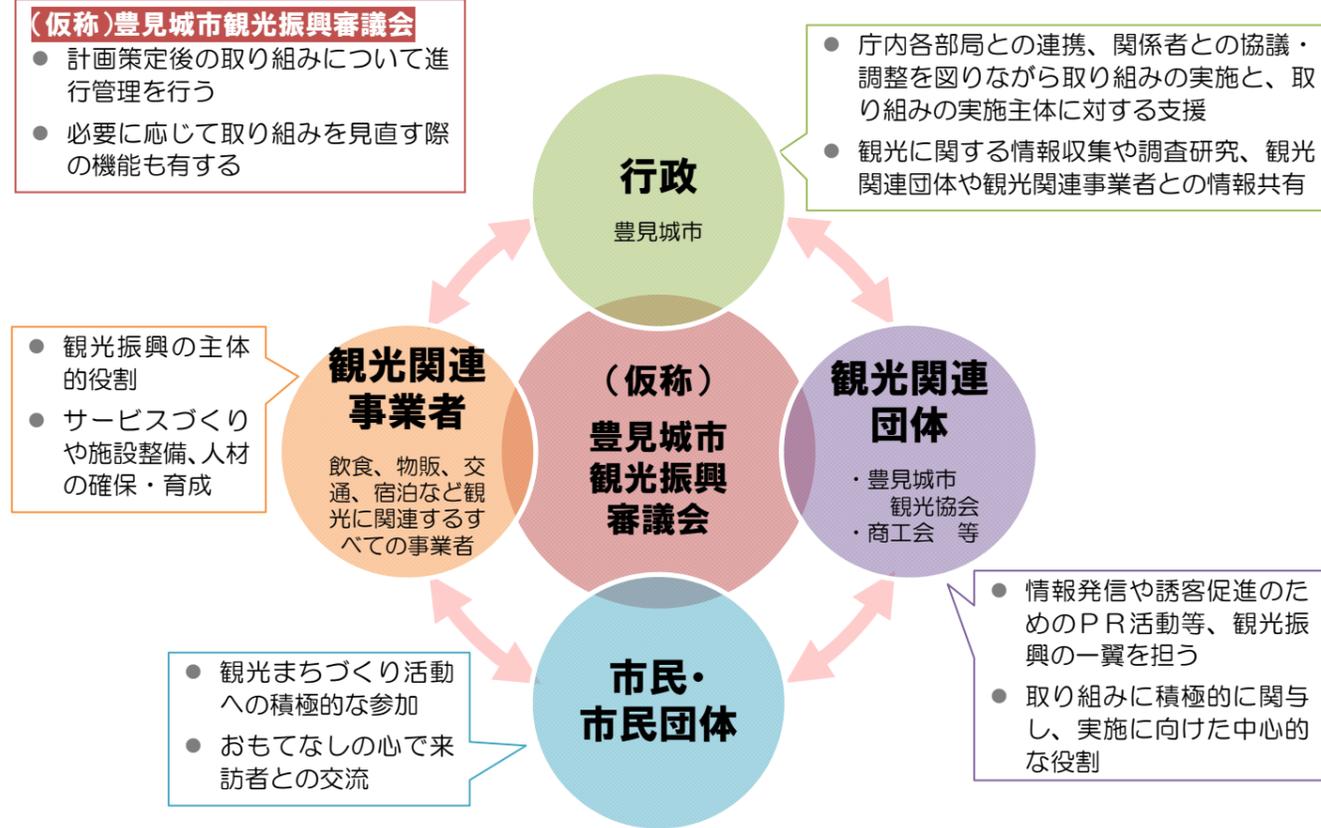


実現にむけて

推進体制と役割分担

行政、観光関連団体、観光関連事業者、市民・市民団体が一体となった体制を構築します。

本市の観光を振興していくためには、行政、観光関連団体、観光関連事業者、市民・市民団体が目指すべき観光の将来像「旅のはじまりと終わりの“あじまあ” 響むまち とみぐすく」を共通認識し、それぞれが果たすべき役割のもと、相互に連携、協力する協働の取り組みが重要となります。



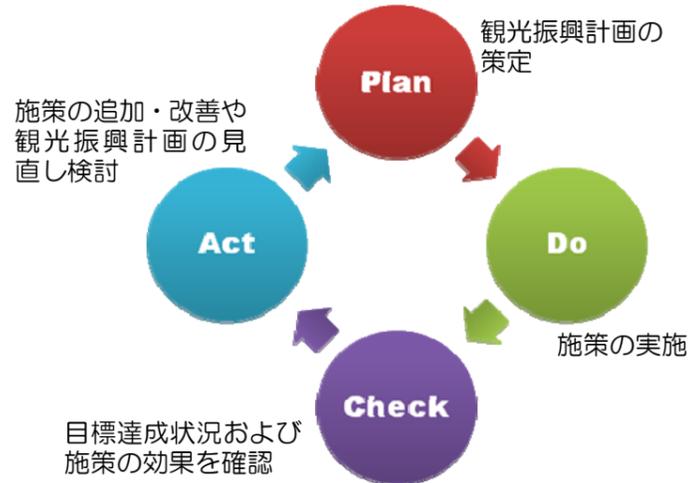
進行管理

計画(Plan)→実行(Do)→確認(Check)→改善(Act)の考えで、本計画を運用します。

本計画の目標を達成するため、PDCA（計画(Plan)→実行(Do)→確認(Check)→改善(Act)）マネジメントサイクルの考え方のもとで計画の進行管理を行います。

右記のように、PDCAを回すことにより、本計画をより計画的かつ効果的に運用することを目指します。

なお、本計画で設定した取り組みを確実に実施していけるよう、毎年、取り組みの進捗状況を管理します。



豊見城市観光振興計画(概要版)

平成25年3月 豊見城市

沖縄県豊見城市翁長854番地1 電話(098)850-5876

豊見城市観光振興計画

概要版



豊見城市マンゴーイメージキャラクター
アゴマゴちゃん

はじめに

計画策定の背景と目的

観光とは、中国の古典「易経」の中で「国の光を観る」こととされ、「人々の暮らしを見るとともに地域住民が自ら光を示すこと」と言われています。

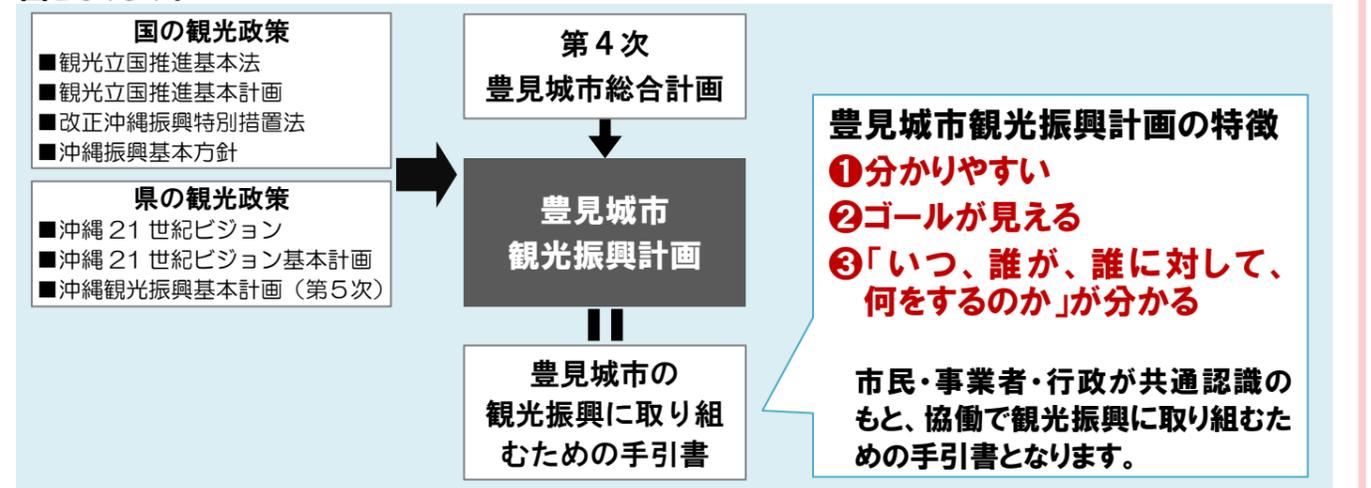
豊見城市は、地の利に加え、西海岸地区を中心に観光施設の立地が進み、観光振興において可能性を持つ地域になっている一方、ソフトの充実がこれまで置き去りにされてきたように思います。

本計画は、観光関連施設の立地や整備といったハードの施策はもちろんのこと、観光に携わる人材や組織の育成、観光プログラム等のソフトに関する施策を位置付けすることにより、市民・事業者・行政が一体となり、住む人が自慢でき、来訪者が何度でも訪れたいくなる

「観光まちづくり」の考えのもと、観光による交流人口の増大と消費の拡大による地域の活性化を目的に、本市の観光振興の指針となる「豊見城市観光振興計画」を策定するものです。

豊見城市観光振興計画の位置づけ

「第4次豊見城市総合計画」に位置づけられている「観光・リゾート産業の振興」を具体化するための個別計画となります。



計画の期間

平成25年度から平成34年度までの10年間を計画期間とします。

なお、計画内容については、社会情勢の変化や取り巻く環境に影響を受けやすいことから、具体的な取り組みにおいて、必要に応じた見直しを行うものとします。

平成25年度 → 10年間 → 平成34年度

課題



将来像



目標



施策・取組

今後求められる沖縄観光からの課題

住民の理解の必要性

観光客の受け入れに対する住民の理解と、自らの地域を深く知ってもらうことが必要。

通過型観光の解消の必要性

通過型観光から滞在型観光への転換と、常に新しい発見がある観光地化が必要。

外国人観光客への対応の必要性

外国人観光客に対応できる人材の確保やサイン整備、外国人観光客のニーズ把握が必要。

立地特性からの課題

地の利を活かした観光機能の充実や魅力ある観光施設の必要性

那覇空港から15分という立地特性を活かした、情報提供やPR、観光地としての雰囲気づくりが必要。

交通インフラの充実が必要

道路インフラや公共交通の充実、駐車スペースの確保などが必要。

豊見城市の観光資源からの課題

地域資源の有効活用による魅力ある観光プログラムの必要性

多彩な地域資源の発掘やそれを活かした新たなプログラムの構築が必要。

目玉となる観光商品の必要性

観光地として発展していくため、観光の目玉の創出が必要。

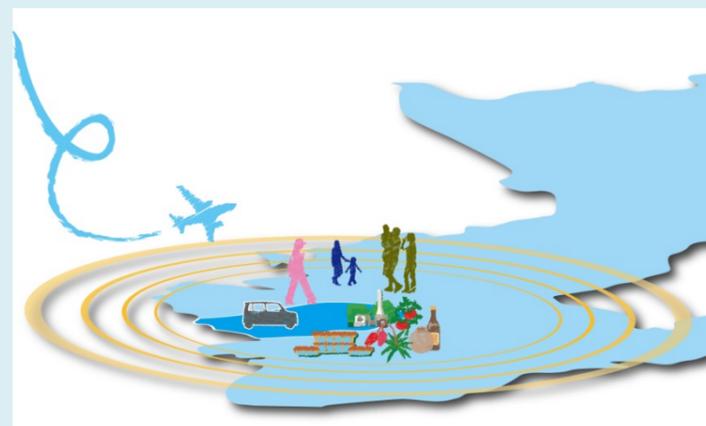
旅のはじまりと終わりの

“あじまゝ”

とよ 響むまち とみぐすく

様々なものが集まり交わる“あじまゝ”で、まちの元気と市民の誇りが響きあうとき、新しい観光のスタイルが生まれ、訪れた人が思わず笑顔になるような居心地の良さに、沖縄に来てよかった、豊見城にまた来たいと思わせるような観光まちづくりを目指します。

※あじまゝ：交差したところ、交差点



目標水準

指標	現在	目標
観光客数	230万人	350万人
イベントや体験プログラム参加者数	82,280人	13万人
ホームページ等へのアクセス数	275,400件	43万件

市民一人ひとりが豊見城を知り広めたくなる『わったー自慢のとみぐすく』

市民が豊見城を深く知り、愛し、魅力を意識することで、住んで良かったと思えるようなまちづくりを目指します。

都市型リゾートと豊かな地域資源の活用と創造による『とみぐすくスタイルづくり』

都市近郊において、食・楽・学・交・健など沖縄観光がひと通り体験できる、とみぐすく独自のスタイルを創出し、体験するたびに感動を味わい、来てよかったと感じるまちづくりを目指します。

こちよさに思わず笑顔になる『さりげないおもてなしの雰囲気づくり』

自然体の中に、こちよさを感じ、思わず笑顔になり、とみぐすくを好きになり、また来たくなるまちづくりを目指します。

施策①: 市民意識の向上

- 取組① 豊見城大学の充実
- 取組② 歴史文化講座等の充実

施策②: 人材や組織の育成

- 取組① 観光協会の強化
- 取組② 観光ガイド等の育成
- 取組③ まちづくり団体等の育成と連携

施策③: 観光PRの強化

- 取組① 観光宣伝の充実
- 取組② 情報提供の充実
- 取組③ 観光大使の任命

施策④: 多彩な観光プログラムの提供

- 取組① ウチナーツーリズムの推進
- 取組② 新たなツーリズムの育成
- 取組③ イベントの充実

施策⑤: 魅力あるモノづくり

- 取組① 地域資源の発掘と再生
- 取組② 地域固有の「食」の提供
- 取組③ 農商工連携による新たな商品開発
- 取組④ まち歩きストーリーの作成

施策⑥: 観光拠点の整備充実

- 取組① エアウェイリゾートの推進
- 取組② 新たな観光拠点の形成

施策⑦: 南部広域市町との連携

- 取組① 体験活動の受入
- 取組② 沖縄まちまーい協議会との連携
- 取組③ 南部広域による観光情報の提供

施策⑧: 環境にも配慮した交通インフラの充実

- 取組① 公共交通の充実
- 取組② エコドライブの推進
- 取組③ レンタサイクルの導入
- 取組④ 駐車場の確保

施策⑨: 観光地としての雰囲気づくり

- 取組① 風土に根付いた景観づくり
- 取組② 環境美化活動の推進
- 取組③ 観光案内サイン等の充実

施策⑩: 安全・安心の提供

- 取組① 防災情報等の提供
- 取組② 観光施設の安全確保